



「いのちと念仏」相談センターについて

「いのちと念仏」相談センターは浄土真宗本願寺派総合研究所に設置されている相談窓口です。

☎ 075-371-5811

月・水 12:30~16:00
宗務所休日・祝日は受付を休止します
相談は無料です

お寺の日常発信してまします

- ホームページ
- LINE 法事や相談の予約等LINEが便利です
- インスタグラム
- フェイスブック
- ツイッター

ここにアクセスすると、HP・各SNSを見ることができます

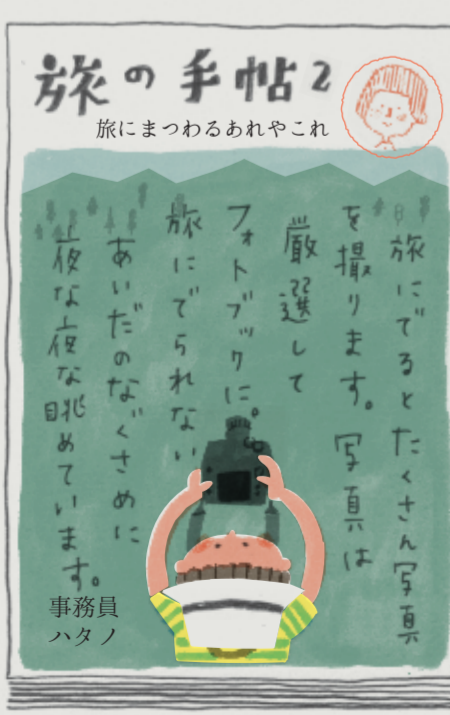
YouTubeで配信中

朝の法話&おつとめ おあさじ

- 毎朝9時から(火曜休)
- 法話の後に勤めしています
- どなたでも参加いただけます

心の悩み相談

- 家族関係について
- さまざまな不安
- ただ話を聞いて欲しい
- ・・・などのご相談に、臨床心理学を専門とする心理相談員が応じます。なお、ご相談内容に関しての助言は控えさせていただきます。



「お盆のお飾りはどのようにすればいいですか?」

初盆なのですが何か準備することはありますか?

いつも

お盆のための特別なお飾りは必要ありません。また、初盆だからと準備することも特にありませんので、一般の法要と同様のお飾りをしてください。

こたえ

皆様からよく寄せられる「仏事、こんな時はどうすれば?」という質問について、なるべく不定期のコナラーです

「お盆」といえば、「年に一度、故人(先祖)があの世から帰ってくるので、必ずやきゅうりの精霊馬や精霊棚を用意し、迎え火を焚いてお迎えする。あの世へ戻る16日には送り火を焚いて送り出す。」といった風習を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、浄土真宗ではそういったことはいたしません。せくなられた方はすでにお浄土に生まれ、この世に生きている私たちがいつまでもどこでも見守り導いてくださるのですから、お盆の間の数日だけ帰ってくるわけではありません。つまり、先祖「供養」のために何かを用意したり、「霊」を迎えたり送り出したり日に...というふうな日程を組ませていただき、お知らせするかたちになりますことをご了承ください。

12月15日にはお寺の本堂にて合同法要を行いますので、都合がつかない方は、どうぞお寺へお参りください。今年もオンライン配信を予定しております。帰省やお参りを控えようとお考えの方は、それぞれの安心できる場所でお勤めに参加してくださいと思います。

参考文献
浄土真宗 新・仏事のイロハ
本願寺出版社

これらをお盆の前には三角の形をした「打敷」という布を掛けます。そして、お仏飯や餅、菓子、果物などをお供えます。

また、お盆参りの日時についてこだわりをお持ちの方がおおいですが、ここまでの内容で、13~15日のお参りにこだわらなくてもいいこともご理解いただけたかと思えます。

善称寺では、希望される方のご自宅のお仏壇へ7月末から8月半ばにかけてお参りさせていただきますが、なにぶん多くのお宅へお伺いしますの、すべての方のご希望日時をお聞きすることはできません。同じ地域にお住まいの方は同じ

森嶋、僧侶になっちゃってよ

~「亡き方からのプレゼント」の巻~

こんにちは。最近のご法事やご葬儀のお勤めもさせて頂くようになり、ますます日々精進・勉強の毎日です。さて、僧侶になりタイトル名も変更になったという事で、仏教ゼロからスタートした僕が「知って良かった!」と思える事をこれから紹介させて頂きたいと思います。今回のキーワードは浄土真宗でよく出てくる「往相(おうそう)」と還相(げんそう)。早速難しそうな言葉ですが、ひるまずに読んでください。

阿彌陀様は「全ての者を必ず救い、浄土へ導いて下さる仏様」という事はお伝えしてきました。私たちの命が尽きた瞬間に救いと。地獄へ行く心配なく浄土へとお連れ下さり、さとりを開かせて(=仏とならせて)頂く。そのことを「往相(お浄土に生まれて行く様子)」と言います。そして苦しみや悩みをかかえ不安な毎日を送る人々(=私達)を見守り救う為はこの世界に還ってくることを「還相」と言います。

親鸞聖人の著書に「還相とは、衆生が浄土に生まれたのち、自利の智慧と利他の慈悲とを成就することができ、ふたたび迷いの世界に還って来てすべての衆生を導いて、ともどもに仏道に向かわせることである。(教行信証論註の文)」とあります。(この教えを知った時「なんと前向きなんだ!」と思いました)

「仏道に向かわせる」それは「どうか仏様の教えを聞いてくれよ」というメッセージでもあります。仏教は今から2500年前のお釈迦様から始まりましたが、その目的はシンプルで「私達の世界は苦しみの世界である。だから苦しむ人々を救いたい」です。(苦しみの世界だったなんて! き、きびしい...!!) その為にお釈迦様はたくさんの処方箋(=仏様の教え)を残してくれています。私達はそれに耳を傾け、日々押し寄せる不安や苦しみをどう乗り越えていけばよいか教えてもらい生きていく。この仏様の教えこそが、亡き方から私達への最大のプレゼントではないでしょうか。そのプレゼントを私達僧侶は皆様にはわかりやすくお伝えしていく必要がありますから、ほんとに大事なお仕事だと思います。

私達はせめてものお礼として亡き方を思い手を合わせる。そして亡き方(ゆくゆくは私達も)を仏にしてくれた阿彌陀様に「南無阿彌陀仏」と感謝をしていく。これが浄土真宗式の生き方という事ですね。ご法事の際はもちろんです。朝のお勤めYouTube配信でも仏様の教えを(火曜日以外)毎日お伝えしておりますのでぜひご覧下さい! まだまだ未熟ではありますが「皆さんに楽になってもらいたい! そして自分も勉強させて頂いている!」という気持ちで取り組んでおりますのでよろしくお願いたします。

最近「苦しみ = 思い通りにならない」という言葉を聞いて「なるほど!!」と思いました
僧侶 森嶋浄哉 (釋淨信)



おいて! 和尚!

仏事Q&A

保存版

第3回再掲

皆様からよく寄せられる「仏事、こんな時はどうすれば?」という質問について、なるべく不定期のコナラーです



寺男の独り言です...

大寒...寺周りを清掃していると、けたましく「カー-!カー-!」と三羽のガラスが超低空飛行で追っかけて...寺男の側に「ポトツ...」と何かを落して飛び去る。「何かな?」と見るとウィナーの欠片である。ゴミ袋を漁ったか...? 当然、清掃が仕事の寺男はチリ取りと箒で後始末...2分後、ウィナーを落としたと思われる一羽のガラスが戻ってくる。「カラス君(♂か♀か解らないが?)」ゴメン! 寺男が処理してしまいました(笑い...)

立春大吉...寒風の中、和尚とロードバイクで知り合いの作家の木版画展に行く。後で、和尚が「LAWSON 弁当を買って海岸でランチしよう」と言う!? この寒空の下で? 外気温3℃である! 体感気温は0℃である!! 時々、和尚の考える事が解らなくなる! で、寺男が無理やり行きつけの喫茶店に連れて行く! 和尚から前もって海岸ランチを知らせていた作家さんも一緒に行く。彼は弁当持参だったよう...(笑い)

最近、寺のアチラコチラに植栽したノコンギクが五月初めにして蕾を付けています。咲いているものも有ります。普通、早くとも八月頃からの開花なのに...!?



最後に...春分の候、今年も、山茶花生垣の中から「ゲロゲロ...」と、いつものアマガエルが鳴き始める。が、姿は見えず...穀雨の候、アマガエル発見! 元気です! 序でに私も元気です! 皆さんも元気で...!

昨年秋に植えたチューリップ 三月末日満開!! 和尚の娘さんがお給かきしてくれました「ありがとー!」寺の境内と違う原色の世界... 寺男・マトバ

日々のあわ

夕飯の後 テレビをつけたら、天気予報は雨。「早朝の境内の掃除はできそうにないな...」

「幼稚園の送迎。車だと混むから嫌だな...」などと思いをめぐらせながら、「明日はお天気悪いんだって」とほろりとこぼすと、4才の娘から「雨が降るの? じゃあ、お外で遊ばないね...。でも、お気に入りの長靴をはけるし、ドライブしたらガラスの水晶がキラキラできれいだし、傘に雨が落ちてくる音も楽しいし、雨の日のお庭を見るのも大好き。(だから別に悪くないよ)」といった返事。その考え方が素敵だなと思って、晴れを「天気が良い」、雨を「天気が悪い」となるべく言わないようにしているはず。ついつい、かり口をついて出てきて、いつもハッと一言い直すことになるのでした。

雨が好きな人も、嫌いな人も、降ると助かる人も降られると困る人もいます。もちろん、何とも思わない人も。「雨が好き」という人だて、状況や条件次第では雨降りを心から恨めしく思うことがあるかもしれません。どんなことも、「良(善)・悪」や「白・黒」「正・善悪」のように両極端に二分されるのではなく、「そういうこともある/そういう人もいる/そんな時もある/よね...」と受け止められるような柔らかい心を持ちたいもの。

とかく揺らぎやすい私が、雨が降るたびに我が身を省みて「ほんやりと思うことです。」

鹹豆漿(シェントウジャン)にはまり中。黒酢、搾菜、桜海老、ねぎ、塩少々に、温めた豆乳を注ぎ、ごま油をたらり。簡単で美味!

坊守